

令和7年度 学校評価報告書(目標設定)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価(月日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	① ・生徒が主体的に学ぶ意欲を養い、自ら課題を発見し解決するための思考力、判断力、表現力を育む。 ② ・学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体性の伸長を図る。	① ・「プログラミング的思考を土台とした生徒の可能性を広げる授業～自己肯定感を形成・向上～」を目標とし、組織的な授業改善を行う。 ② ・学校行事や生徒会活動を生徒主体で取り組ませる。生徒自らが発信させる機会を多く作り、成功体験を積みませながら人間的成長を期待する。	① ・プログラミング的思考についての外部講師による研修会を2回実施する。 ・「10の技法」のロゴについての校内研修会を実施する。 ② ・生徒の自主性・主体性・責任感を育むとともに、コミュニケーション力を培うために、生徒会行事等を生徒主体で企画、立案、運営させる。	① ・生徒による授業評価で「考えをまとめる授業」、「課題解決方法を考える」項目で評価3・4 合わせて90%以上となったか。 ・全職員が、授業で「10の技法」のロゴをプリントに示したり、黒板に提示したりすることができたか。 ② ・体育大会、文化祭、球技大会を生徒主体で企画、立案、運営させることができたか。					
2	生徒指導 ・ 支援	① ・基本的生活習慣・社会的 生活習慣を定着させ、平和 と人権を尊重する公民の 育成を目指す。 ② ・部活動を活性化させ、責 任感や連帯感を育成する。	① ・頭髮、服装指導を徹底して規範意識を高めていく。 ・生徒の現状に合った指導の徹底と交通安全の意識を高め、事故発生等を減らすように努力する。 ・困難を抱える生徒の把握に努め、適切な支援を確実に行う。 ② ・部活動オリエンテーション・部活動体験を充実させるとともに、中学生への発信を重視し本校で部活動をやりたい生徒を一人でも多く獲得し学校の活性化に繋げる。	① ・生徒との信頼関係に基づいて、事前指導を徹底し、頭髮・服装指導や遅刻指導を粘り強く実施する。 ・交通事故の防止と交通マナーの指導を徹底する。バス運行会社等の交通安全教室などをする。 ・かながわサポートブックも活用し、SC・SSWと連携し、教育相談体制を拡充させる。 ② ・部活動オリエンテーションを生徒主体の運営とし、部活動への心理的ハードルを下げ、部活動の加入率を上げる。	① ・頭髮、服装指導の件数が例年に比べて減少したか。 ・交通事故の発生件数や、苦情の件数は減少したか。 ・サポートブックの結果分析会を2回実施することができたか。 ② ・部活動入部率が、新入生で48%以上、学校全体で45%以上であったか。					
3	進路指導 ・ 支援	○ ・キャリア教育実践プログラムを 充実させ、生徒のめざす 進路希望実現を支援する。	① ・進路実現に向けて、1・2年生での進路探究を進め、職業理解・自己理解を深める。 ② ・生徒や保護者に向けた各種情報発信を工夫する。 ③ ・基礎学力を高め、生徒一人ひとりに合った進路支援をし、希望する進路の選択肢を広げる。	① ・キャリア計画「西浜高校の36ヶ月」を基に、生徒が自らの進路について考え、実現できるよう適切に支援する。 ② ・Classroom やマチコミールなどを活用し、進路関連情報を生徒や保護者に提供する。 ③ ・進路を探究するために、e-ポートフォリオへの記録と記録の活用を行う。	① ・インターンシップなどの活動へ参加が増えたか。 ② ・年間を通じて、その時期に応じた進路情報を生徒や保護者に適切に年3回提供できたか。 ③ ・e-ポートフォリオへの記録を年3回以上行わせることができたか。					
4	地域等 との協働	① ・保護者、地域と連携し、 信頼される学校づくりを 推進する。 ② ・学校からの情報発信に 努める。	① ・地域から信頼される学校、生徒を目指し、 地域の要請に応じて、積極的に生徒の活 動の場を設ける。 ② ・学校説明会、中学校への学校紹介資料の 配付、HP 等を通して本校の特色を幅広く 紹介する。	① ・行事ごとに、マチコミでのサポーターへの協力依頼をお知らせし、教育活動への保護者の理解と積極的な支援や参加を促す。 ② ・学校説明会や学校紹介資料、学校HPの充実を図り、本校の魅力・特色を幅広く適時に発信する。	① ・PTA 活動への参加者が、昨年度よりも増えたか。 ② ・HP は常に最新データに年10回更新したか。					
5	学校管理 学校運営	① ・安全で安心な教育環境 を確立する。 ② ・教職員の働き方改革に 取組み、ワークライフバ ランスを推進する。 ③ ・教職員全体で事故防止 に取組む。 ④ ・学校図書館を学校生活 の様々な場面で活用す る。	① ・PTA・生徒が一体となって、安全でより良 い教育環境を目指す。 ② ・業務の精選を進め、組織的な業務改善を 行う。 ③ ・不祥事防止資料を効果的に活用し、有効 な研修を実施する。 ④ ・学校生活の様々な場面を想定して、生徒 や先生がより利用しやすい図書館運営を 目指す。	① ・安全安心な教育環境の整備を計画的に実施する。 ② ・会議や業務の精選を図り、年次休暇等の取得や勤務時間外勤務の短縮を徹底する。 ・ICT 支援員等の人材を有効に活用する。 ③ ・研修や面談を通し当事者意識を高め、日ごろから風通しの良い職場環境づくりを推進する。 ④ ・生徒からリクエストした本や授業に必要な資料を購入するなどして本校生徒のニーズに合った図書館運営を行う。 ・授業利用時間数の増加を目指して、Teams 等で職員に情報を発信し、より利用しやすい環境や状況を整える。	① ・美化委員会やPTAと連携し、環境整備を計画的に実施できたか。 ② ・月80時間以上の超過勤務をする職員をゼロ、45時間以上の超過勤務をする職員を極力なくす等、長時間勤務を解消することができたか。 ・人材を計画的、組織的に活用できたか。 ③ ・不祥事防止研修や職員との面談が計画的に実施できたか。 ・事故不祥事の発生が防げたか。事案発生の際に適切な対応が取られたか。 ④ ・図書館における授業時間数や利用される場面は昨年度より増加したか。 ・図書館について、Teams、図書館だよりを通じてそれぞれ年4回以上情報を発信することができたか。					